【連絡先】滋賀県衛生科学センター健康科学情報係
【電話】077-537-7438　【E-mail】eh4505@pref.shiga.lg.jp
イラストは滋賀県健康づくりキャラクター「しがのハグ＆クミ」

滋賀県感染症発生動向調査　感染症週報

令和元年第 22 週（5/27～6/2）【概要版】

令和元(2019)年 6 月 7 日発行　滋賀県感染症情報センター

1.　コメント

（1）　報告数が多かった疾患は、感染性胃腸炎、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱（プール熱）と伝染性紅斑です。
（2）　咽頭結膜熱は過去 5 年の同時期と比べて、非常に多く報告されています。
（3）　伝染性紅斑は大津市保健所管内で警報発令基準値を超過、草津保健所管内では警報発令基準値と同値を示しました。
（4）　麻しんが長浜保健所管内で 2 人（21 週診断）届出されています。
（5）　梅毒は本調査が開始された 1999 年以降、最も早いペースで患者数が増加しています。

2.　報告数が多かった定点把握疾患（五類感染症）（i）

（1）　滋賀県

疾病名	滋賀県						保健所別（iv）						
	2週前	1週前	今週	警報注意報（ii）	例年より多い（iii）	例年より非常に多い（iii）	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
感染性胃腸炎	6.56	6.66	6.03				多		↑	多		多	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.75	2.09	1.34					多		多			
咽頭結膜熱	0.44	0.69	1.19		○	○	↑	多		多			↑
伝染性紅斑	0.69	0.38	1.13		○		警	多	多				↑
手足口病	0.50	0.38	0.94				↑	多	多	多	↑		↑

（2）　前週の全国および近隣府県の状況（下線; 滋賀県よりも多い）

疾患	全国	滋賀県	大阪府	京都府	福井県	岐阜県	三重県
感染性胃腸炎	6.63	6.66	***6.91***	6.09	***10.30***	4.26	6.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	***2.66***	2.09	***3.03***	1.59	***3.70***	1.04	1.84
咽頭結膜熱	0.64	0.69	***0.76***	0.54	0.65	0.45	0.44
伝染性紅斑	***0.82***	0.38	***0.76***	***0.71***	***0.74***	***0.43***	***0.53***
手足口病	***1.54***	0.38	***3.92***	***1.05***	***0.87***	0.17	***1.58***

3.　全数把握疾患（滋賀県、今週診断例）

類型	疾病名	滋賀県					保健所別						
		2週前	1週前	今週	例年より多い（iii）	例年より非常に多い（iii）	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
二類	結核	14	7	7	○		3		2	2			
五類	ウイルス性肝炎	0	0	1	○		1						
五類	侵襲性肺炎球菌感染症	3	1	1					1				
五類	梅毒	1	0	1	○	○				1			

i.　定点把握疾患：人口及び医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点（医療機関）で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握
ii.　警；警報発令、注；注意報発令
iii.　今週の値が過去 5 年の同時期（全数把握疾患は同時期の累積報告数）の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値＋2×標準偏差（SD）」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記（定点把握疾患の平均値は過去 5 年間の前週、当該週、後週の合計 15 週の平均を利用）
iv.　「警; 警報開始基準値を超過」、「注 ; 注意報基準値を超過」、「多：今週の滋賀県の値よりも多い」、「↑：前週比増加」（「警報」、「注意報」、「多」、「↑」の順に優先して標記）

【連絡先】滋賀県衛生科学センター 健康科学情報係
【電話】077-537-7438　【E-mail】eh4505@pref.shiga.lg.jp

滋賀県感染症発生動向調査　感染症週報

令和元年第 22 週（5/27～6/2）【詳細版】

令和元(2019)年 6 月 7 日発行　滋賀県感染症情報センター

1. コメント（概要版より再掲）

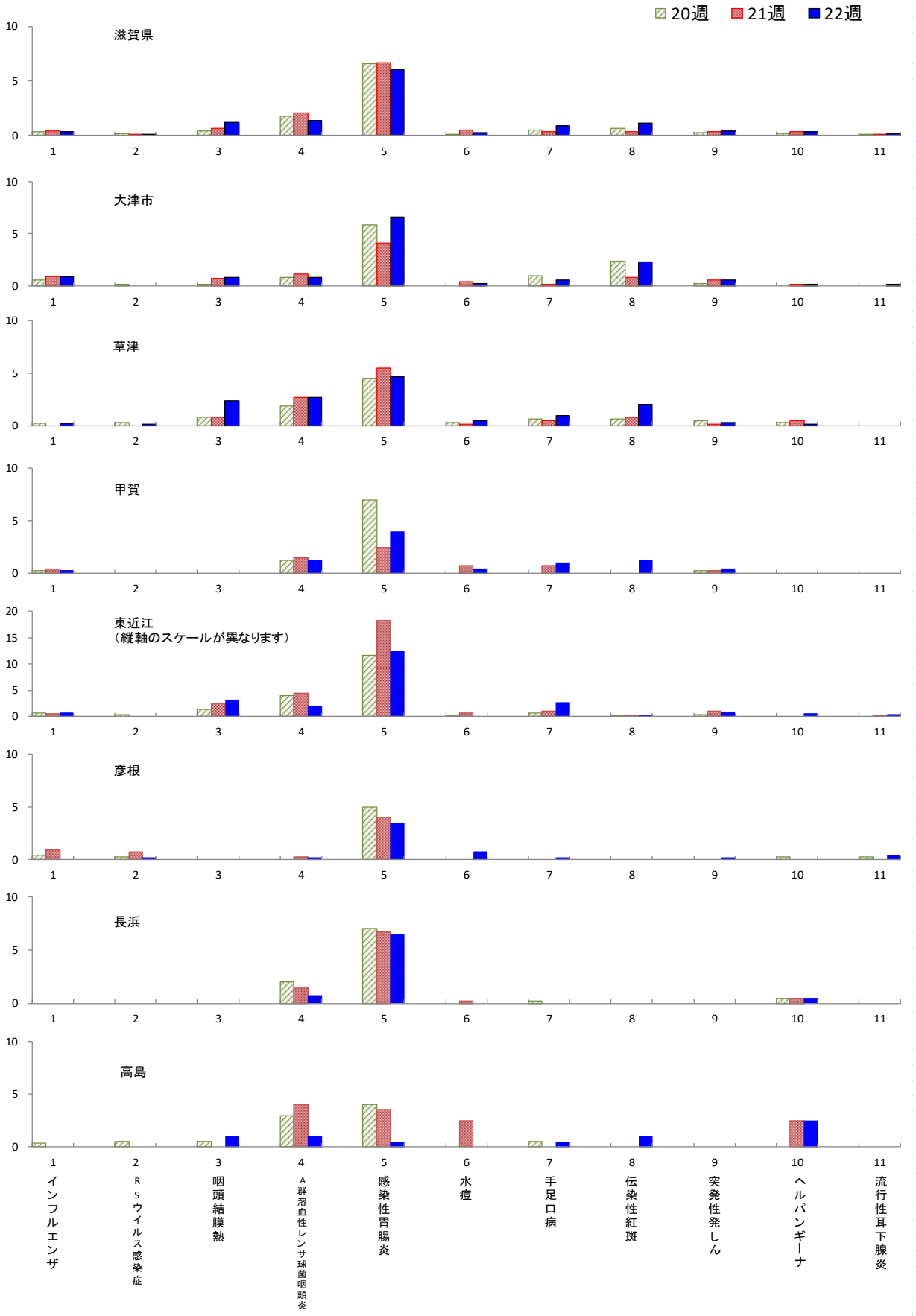
(1) 報告数が多かった疾患は、感染性胃腸炎、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱（プール熱）と伝染性紅斑です。
(2) 咽頭結膜熱は過去 5 年の同時期と比べて、非常に多く報告されています。
(3) 伝染性紅斑は大津市保健所管内で警報発令基準値を超過、草津保健所管内では警報発令基準値と同値を示しました。
(4) 麻しんが長浜保健所管内で 2 人（21 週診断）届出されています。
(5) 梅毒は本調査が開始された 1999 年以降、最も早いペースで患者数が増加しています。

2. 定点把握疾患（五類感染症）の定点当たり報告数（全国は前週の値） [i, ii, iii, iv]

定点区分（定点数）	疾病名	滋賀県						保健所別（iv）							全国（前週）（iv）	基準値		
		2週前	1週前	今週	警報注意報（ii）	例年より多い（iii）	例年より非常に多い（iii）	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島		警報開始	警報終息	注意報
インフルエンザ（定点数;53）	インフルエンザ	0.38	0.45	0.38		○	○	0.91	0.20	0.29	0.75	0	0	0	0.62	30	10	10
小児科（定点数;32）	RSウイルス感染症	0.22	0.09	0.06		○		0	0.17	0	0	0.25	0	0	0.32	—	—	—
	咽頭結膜熱	0.44	0.69	1.19		○	○	0.86	2.33	0	***3.20***	0	0	1.00	0.64	3	1	—
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.75	2.09	1.34				0.86	2.67	1.25	2.00	0.25	0.75	1.00	2.66	8	4	—
	感染性胃腸炎	6.56	6.66	6.03				6.57	4.67	4.00	12.40	3.50	6.50	0.50	6.63	20	12	—
	水痘	0.09	0.50	0.31				0.29	0.50	0.50	0	0.75	0	0	0.45	2	1	1
	手足口病	0.50	0.38	0.94				0.57	1.00	1.00	2.80	0.25	0	0.50	1.54	5	2	—
	伝染性紅斑	0.69	0.38	1.13		○		***2.29***	2.00	1.25	0.20	0	0	1.00	0.82	2	1	—
	突発性発しん	0.25	0.34	0.44		○		0.57	0.33	0.50	1.00	0.25	0	0	0.54	—	—	—
	ヘルパンギーナ	0.16	0.34	0.38				0.14	0.17	0	0.60	0	0.50	2.50	0.31	6	2	—
	流行性耳下腺炎	0.03	0.03	0.16				0.14	0	0	0.40	0.50	0	0	0.12	6	2	3
眼科（定点数;8）	急性出血性結膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.01	1	0.1	—
	流行性角結膜炎	0.13	0.38	0				0	0	0	0	0	0	0	0.57	8	4	—
基幹（定点数;7）	細菌性髄膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.02	—	—	—
	無菌性髄膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.02	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.10	—	—	—
	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.00	—	—	—
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0.71	1.00	0.14				1.00	0	0	0	0	0	0	0.50	—	—	—
	インフルエンザ（入院例に限る）	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.07	—	—	—

[i] 定点把握疾患：人口及び医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点（医療機関）で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。
[ii] 定点当たり報告数が「警報開始基準値」を超える全ての保健所の管内人口の合計が、県人口全体の 30%を超えた場合に滋賀県全域に警報を発令（「警」）します。また、定点当たり報告数が「注意報基準値」を超えた場合に注意報（「注」）を発令します。
[iii]今週の値が過去 5 年の同時期（全数把握疾患は同時期の累積報告数）の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値＋2×標準偏差（SD）」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記（定点把握疾患の平均値は過去 5 年間の前週、当該週、後週の合計 15 週の平均を利用）
[iv] ***赤字斜字***；警報開始基準値を超過、***紫字斜字***；注意報基準値を超過

3. 定点把握疾患（五類感染症）の保健所別推移（滋賀県、今週と過去 2 週、縦軸；定点当たり報告数）



4. 定点把握疾患（五類感染症）の年齢階級別報告数 （滋賀県、今週）

インフルエンザ定点（53医療機関）	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
インフルエンザ	20	－	－	－	1	－	－	－	1	1	－	1	9	2	2	2	－	1	－	－	－
大津市保健所	10	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	4	2	2	1	－	－	－	－	－
草津保健所	2	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－
甲賀保健所	2	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－
東近江保健所	6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	4	－	－	－	－	1	－	－	－
彦根保健所	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
長浜保健所	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
高島保健所	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

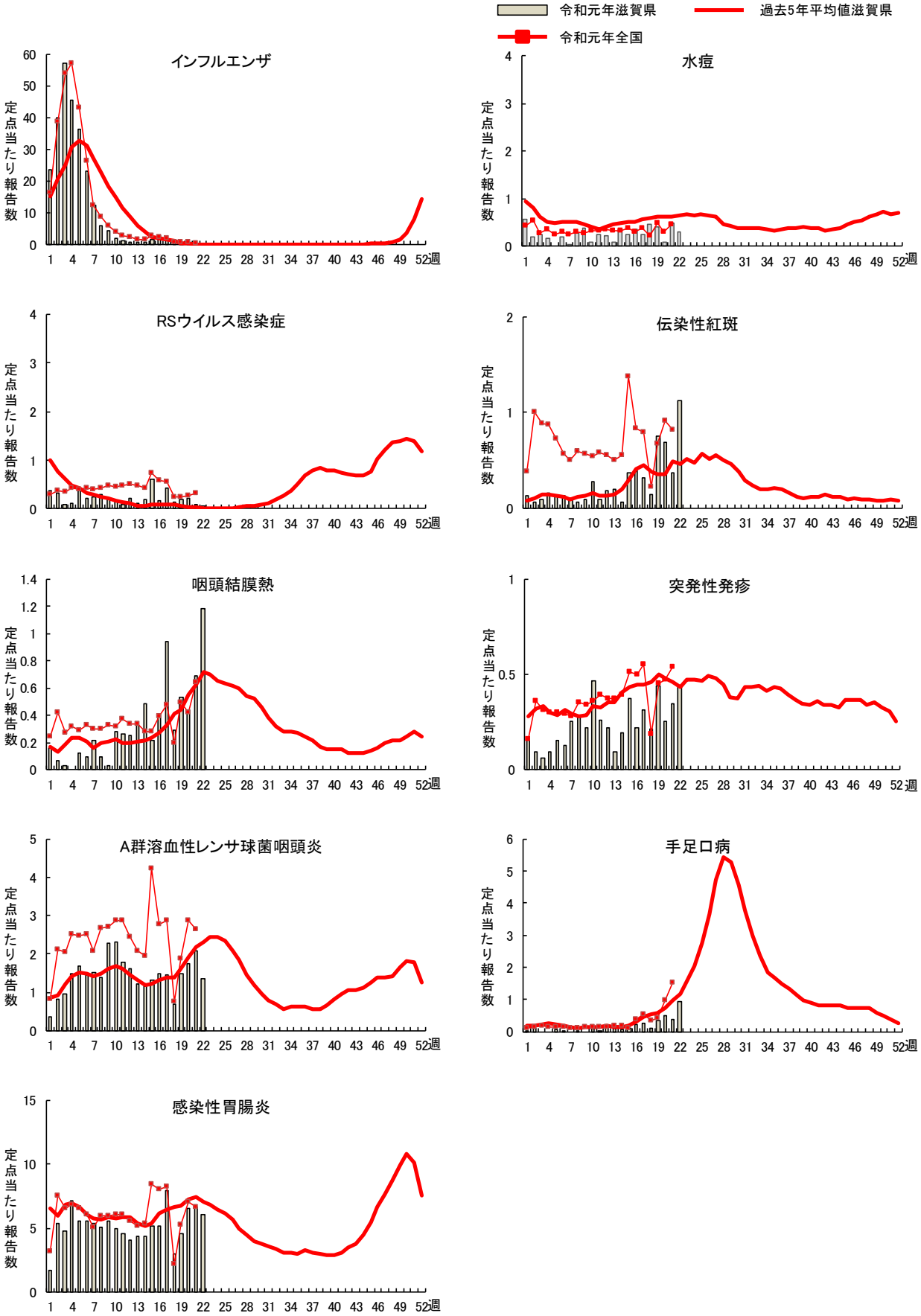
小児科定点（32医療機関）	総数	0～5ヶ月	6～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	2	－	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
咽頭結膜熱（プール熱）	38	－	7	8	7	3	4	6	2	－	－	－	1	－	－
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	43	－	－	－	3	5	－	8	7	10	3	2	4	－	1
感染性胃腸炎	193	3	9	17	25	24	10	21	19	6	10	16	17	2	14
水痘	10	－	2	－	1	1	2	2	1	－	1	－	－	－	－
手足口病	30	－	5	12	6	1	3	1	－	1	－	－	－	－	1
伝染性紅斑（リンゴ病）	36	－	－	1	1	4	8	11	6	4	－	1	－	－	－
突発性発しん	14	－	6	7	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヘルパンギーナ	12	1	2	7	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	5	－	－	－	－	1	1	－	2	－	1	－	－	－	－

眼科定点（8医療機関）	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～
急性出血性結膜炎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

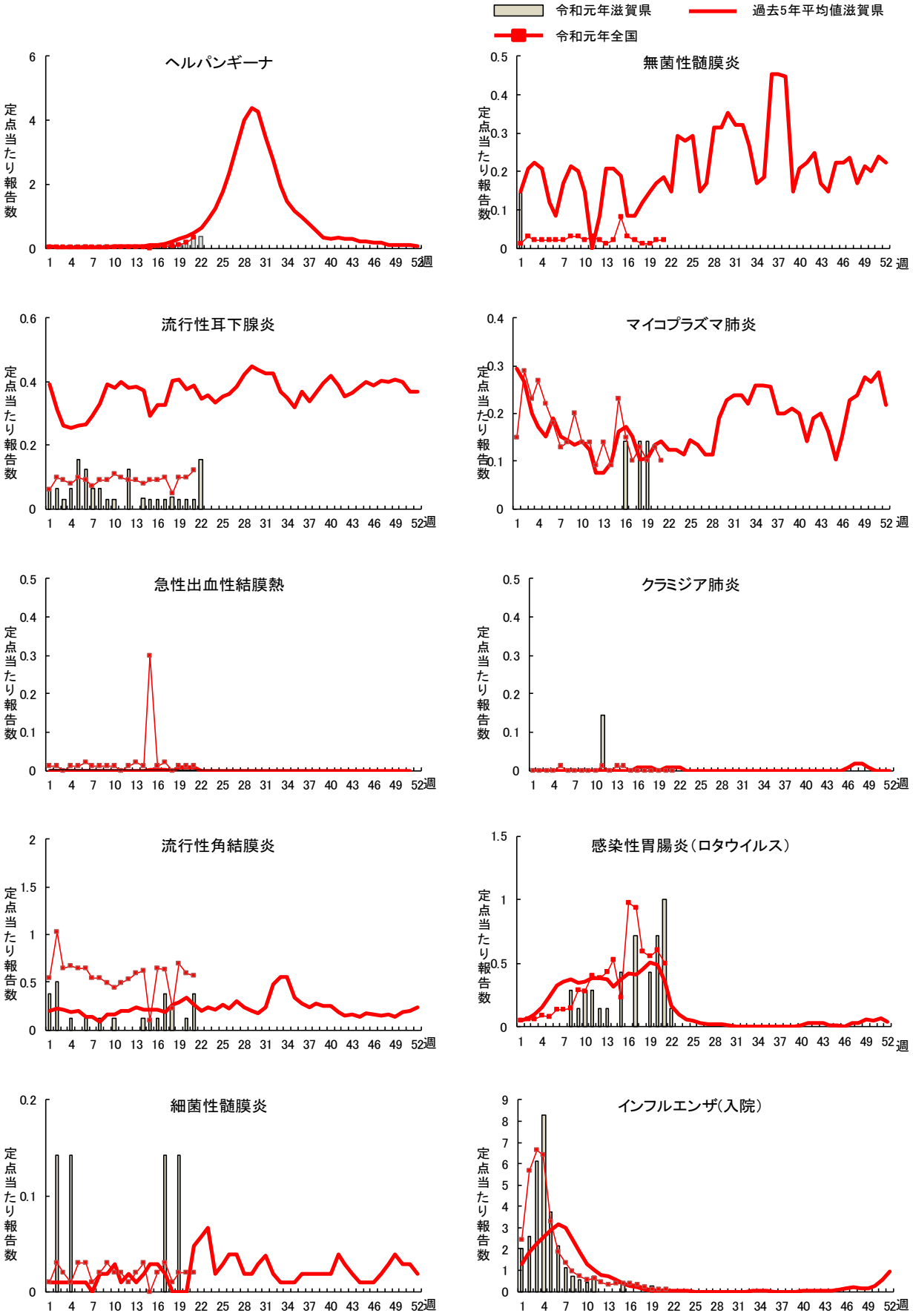
基幹定点（7医療機関）	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～
細菌性髄膜炎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎（オウム病は除く）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

「－」； 報告なし

5-1. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は前週まで掲載）



5-2. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は前週まで掲載）



6. 全数把握疾患 詳細情報(今週報告例) [v]

類型	疾患	診断週	保健所	年齢	性別	病型等	推定感染地	病原体等
二類	結核	22	大津市	70歳代	女	無症状病原体保有者	－	－
	結核	22	大津市	40歳代	女	無症状病原体保有者	大津市保健所管内	－
	結核	22	大津市	60歳代	女	結核性胸膜炎	－	－
	結核	22	甲賀	70歳代	男	肺結核	－	－
	結核	22	甲賀	50歳代	男	肺結核	－	－
	結核	22	東近江	30歳代	女	無症状病原体保有者	県内	－
	結核	22	東近江	70歳代	男	肺結核	－	－
三類	腸管出血性大腸菌感染症	21	高島	60歳代	女	－	高島保健所管内	O血清群不明VT1
五類	ウイルス性肝炎	22	大津市	20歳代	男	B型	国内	異性間性的接触
	侵襲性肺炎球菌感染症	22	甲賀	50歳代	女	－	東近江保健所管内	－
	梅毒	22	東近江	20歳代	女	無症状病原体保有者	県外	－
	百日咳	20	大津市	10歳代	男	－	大津市保健所管内	ワクチン4回接種
	麻しん	21	長浜	10歳代	女	修飾麻しん	長浜保健所管内	ワクチン2回接種
	麻しん	21	長浜	10歳代	男	修飾麻しん	長浜保健所管内	ワクチン2回接種

注目すべき感染症

1. 妊娠している方へ麻疹（はしか）の流行についてのご注意（公益社団法人日本産婦人科医会）
   http://www.jaog.or.jp/wp/wp-content/uploads/2019/02/190225measles.pdf
2. 風疹急増に関する緊急情報（国立感染症研究所）
   https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubella-m-111/rubella-top/2145-rubella-related/8278-rubella1808.html
3. 伝染性紅斑（ヒトパルボウイルス B19 感染症）（国立感染症研究所）
   本疾患が流行している保育園や学校などに対しては、妊婦等は施設内に立ち入らないことなどを考慮すべきである（リンク先より一部抜粋）。
   https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/641-disease-based/ta/5th-disease/idsc/idwr-topic/8749-idwrc-1914.html
4. 咽頭結膜熱とは（国立感染症研究所）
   発熱、咽頭炎、眼症状を主とする小児の急性ウイルス性感染症であり、数種の型のアデノウイルスによる。夏期（小規模だが冬期）に地域で流行することもあり、小規模アウトブレイクとしても、散発的にも発生する（リンク先より一部抜粋）。
   https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/323-pcf-intro.html
5. 梅毒
   (1) 梅毒とは
   https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ha/syphilis/392-encyclopedia/465-syphilis-info.html
   (2) 日本の梅毒症例の動向について（2019 年 4 月 3 日現在、国立感染症研究所）
   https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/syphilis/2019q1/syphilis2019q1.pdf

[v] 感染症発生動向調査事業において、一～四類および五類感染症の全数報告対象の感染症が、診断した医師から最寄りの保健所へ届出されています。

7. 全数把握疾患の累積患者報告数　保健所別（令和元年、全国は前週までの値）[vi,vii]

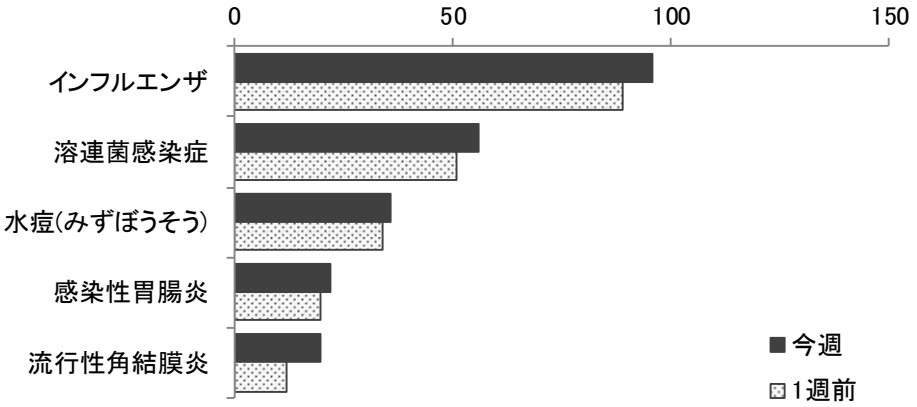
疾患		滋賀県			保健所別累積報告数								全国（前週）	昨年累積報告数	
		例年より多い	例年より非常に多い	累積報告数	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島		滋賀県	全国
二類	結核	○		119	54	20	10	13	11	8	3	8126	235	21850
				8.42	15.83	5.89	6.93	5.69	7.05	5.17	6.17	6.40	16.63	17.21
三類	細菌性赤痢			0	0	0	0	0	0	0	0	35	2	268
				0	0	0	0	0	0	0	0	0.03	0.14	0.21
	腸管出血性大腸菌感染症	○		8	1	3	1	1	0	1	1	503	30	3844
				0.57	0.29	0.88	0.69	0.44	0	0.65	2.06	0.40	2.12	3.03
四類	E型肝炎			0	0	0	0	0	0	0	0	193	2	442
				0	0	0	0	0	0	0	0	0.15	0.14	0.35
	A型肝炎			1	0	1	0	0	0	0	0	187	1	925
				0.07	0	0.29	0	0	0	0	0	0.15	0.07	0.73
	重症熱性血小板減少症候群			0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	77
				0	0	0	0	0	0	0	0	0.02	0	0.06
	チクングニア熱			0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	4
				0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0	0.00
	つつが虫病			0	0	0	0	0	0	0	0	55	1	455
				0	0	0	0	0	0	0	0	0.04	0.07	0.36
	デング熱			0	0	0	0	0	0	0	0	124	0	201
				0	0	0	0	0	0	0	0	0.10	0	0.16
	日本紅斑熱			0	0	0	0	0	0	0	0	37	0	303
				0	0	0	0	0	0	0	0	0.03	0	0.24
	レジオネラ症	○		7	0	1	0	1	2	3	0	544	33	2130
				0.50	0	0.29	0	0.44	1.28	1.94	0	0.43	2.34	1.68
五類	アメーバ赤痢	○		4	3	1	0	0	0	0	0	347	5	838
				0.28	0.88	0.29	0	0	0	0	0	0.27	0.35	0.66
	ウイルス性肝炎	○		1	1	0	0	0	0	0	0	120	1	269
				0.07	0.29	0	0	0	0	0	0	0.09	0.07	0.21
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症			1	0	1	0	0	0	0	0	735	11	2253
				0.07	0	0.29	0	0	0	0	0	0.58	0.78	1.77
	急性弛緩性麻痺	－	－	0	0	0	0	0	0	0	0	25	1	139
				0	0	0	0	0	0	0	0	0.02	0.07	0.11
	急性脳炎			1	0	1	0	0	0	0	0	422	4	657
				0.07	0	0.29	0	0	0	0	0	0.33	0.28	0.52
	クリプトスポリジウム症			0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	25
				0	0	0	0	0	0	0	0	0.01	0	0.02
	クロイツフェルト・ヤコブ病			0	0	0	0	0	0	0	0	62	6	219
				0	0	0	0	0	0	0	0	0.05	0.42	0.17
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	○		6	1	1	0	3	0	1	0	375	10	687
				0.42	0.29	0.29	0	1.31	0	0.65	0	0.30	0.71	0.54
	後天性免疫不全症候群			3	2	0	0	0	1	0	0	431	10	1292
				0.21	0.59	0	0	0	0.64	0	0	0.34	0.71	1.02
	ジアルジア症			0	0	0	0	0	0	0	0	17	0	68
				0	0	0	0	0	0	0	0	0.01	0.00	0.05
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	○	○	6	1	2	0	2	1	0	0	256	7	483
				0.42	0.29	0.59	0	0.87	0.64	0	0	0.20	0.50	0.38
	侵襲性髄膜炎菌感染症			0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	37
				0	0	0	0	0	0	0	0	0.02	0	0.03
	侵襲性肺炎球菌感染症			15	4	2	3	4	1	1	0	1683	41	3299
				1.06	1.17	0.59	2.08	1.75	0.64	0.65	0	1.33	2.90	2.60
	水痘（入院例）			0	0	0	0	0	0	0	0	179	5	461
				0	0	0	0	0	0	0	0	0.14	0.35	0.36
	先天性風しん症候群			0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	○	○	15	6	2	2	4	0	1	0	2472	24	6923
				1.06	1.76	0.59	1.39	1.75	0	0.65	0	1.95	1.70	5.45
	播種性クリプトコックス症			0	0	0	0	0	0	0	0	57	2	178
				0	0	0	0	0	0	0	0	0.04	0.14	0.14
	破傷風			0	0	0	0	0	0	0	0	33	0	130
				0	0	0	0	0	0	0	0	0.03	0	0.10
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			0	0	0	0	0	0	0	0	30	2	79
				0	0	0	0	0	0	0	0	0.02	0.14	0.06
	百日咳	－	－	56	35	3	5	3	2	3	5	6247	141	11947
				3.96	10.26	0.88	3.47	1.31	1.28	1.94	10.28	4.92	9.98	9.41
	風しん	○	○	6	2	2	1	1	0	0	0	1624	12	2917
				0.42	0.59	0.59	0.69	0.44	0	0	0	1.28	0.85	2.30
	麻しん	○	○	8	1	3	1	0	0	3	0	566	1	282
				0.57	0.29	0.88	0.69	0	0	1.94	0	0.45	0.07	0.22
	薬剤耐性アシネトバクター感染症			0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	24
				0	0	0	0	0	0	0	0	0.01	0	0.02

[vi] 今年第 1 週以降に診断された感染症の累計報告数を全国、滋賀県および保健所別に示しています。上段に今年の「累積報告数」、下段に「人口 10 万人当たりの累積報告数」を記しています。

[vii] 今年と過去 5 年の同時期の累積報告数の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、または「平均値＋2×標準偏差（SD）」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記

【参考】今週の学校欠席者情報収集システム（保育園サーベイランス含む）概況（滋賀県、今週）

滋賀県では、園および学校等により、感染症による欠席者等の情報を学校等欠席者・感染症情報収集システム（https://scl11.953862.net/schoolkoukai/view_all.php）へ毎日入力いただいています。入力いただいたデータを、本感染症週報と同期間について、集計して掲載しています。



【全国情報】 国立感染症研究所　感染症疫学センターHP に掲載されています。

感染症発生動向調査　週報（IDWR）　http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html

病原微生物検出情報（IASR）　http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html

インフルエンザ様疾患発生報告（学校欠席者数）　http://www.nih.go.jp/niid/ja/flu-flulike.html

【届出対象疾患】 厚生労働省 HP に掲載されています。

感染症法に基づく医師の届出のお願い

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html

滋賀県感染症発生動向調査週報は、感染症法に基づいて県内の医師、定点医療機関および県内各保健所より報告されたデータを用いて、滋賀県衛生科学センター健康科学情報係において作成しています。

本情報は滋賀県感染症情報センターホームページに掲載しております。

滋賀県感染症情報センターHP

https://www.pref.shiga.lg.jp/eiseikagaku/kansensyou/info/300857.html

イラストは滋賀県健康づくりキャラクター「しがのハグ＆クミ」